

水稻直播情報

令和8年4月15日
庄内総合支庁農業技術普及課
(TEL 0235-64-2103)

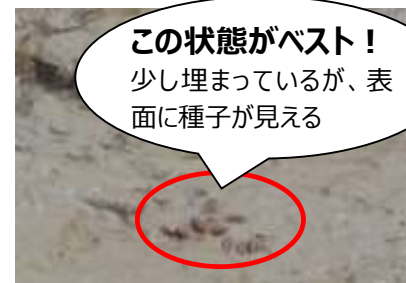
苗立ちの確保には「圃場の硬さ」と「水管理」が重要！
～適正苗立ち本数はm²当たり100本程度(条1m当たり30本程度)～

1 適期播種

- 播種適期は4月27日頃～5月5日頃(日平均気温が12℃以上になる時期)です。
- 播種が遅れると生育・出穂も遅れ、登熟条件(日照、温度)が不利になります。

2 表面播種に適した土壌の硬さに調整～苗立ち確保の最重要ポイント～

- 鉄コーティング直播栽培は、「表面播種」が基本です。土が軟らかすぎると種子が埋没して苗立ち数が低下します。



- 代かき後に2～4日間

落水状態を保ち、「表面播種」ができる土壌の硬さに調整します。

硬さの目安は、ゴルフボールを1mの高さから落として、約半分が埋まる程度です(上図)。

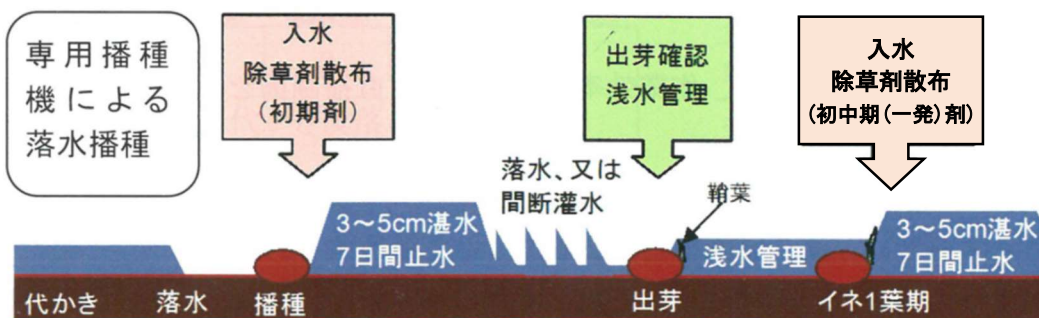
3 播種量

播種量は乾籾で5kg/10aを基本とします。(苗立ちが安定している圃場では4.5 kg/10a～)

4 水管理 (鉄コーティング直播栽培の場合)

- 播種同時または直後に初期除草剤を散布し、少なくとも7日間は止水し、田面を露出させないように注意します(吸水と保温も兼ねる)。
- その後は自然落水し、水深のごく浅い間断灌水を行って種子に酸素を供給し、出芽を促進します。晴天日の日中は、落水状態を保つと地温が高まり、出芽に勢いがつきます。
- 8割程度の出芽を確認したら浅水管理に切り替えます。
- イネ1葉期に到達したら湛水し、一発処理除草剤を散布します。ワキ予防のため、除草剤散布前に水交換を行います。

<鉄コーティング直播栽培 播種後の管理>



◎ 除草剤は、登録内容とイネの生育状況を確認して適切に使用する。